

令和8年度大学院入試 外国語試験（英語）  
地域開発政策専攻（博士前期課程）  
入試区分名（一般選抜）

問題 1. パリ協定に関する次の英文の下線部を日本語に訳し解答用紙に記入しな  
さい。（配点 20 点）

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(出典 NRDC, *ISSUE BRIEF THE PARIS AGREEMENT ON CLIMATE CHANGE*, NOVEMBER  
2017, IB: 17-11-A より抜粋。)

問題 1~3 とも辞書を使用可とする(電子辞書は不可)。

問題 2. 貧困と水資源に関する以下の英文を全て日本語に訳し解答用紙に記入しなさい。〔(中略)は訳す必要はない。〕(配点 60 点)

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(出典：Achmad Daru, dan Dasapta Erwin Irawan, *The Interconnection between Poverty, Access to Clean Water, and the Role of Geology*. 2023.12.12. ;<https://geology.fitb.itb.ac.id/2023/12/12/the-interconnection-between-poverty-access-to-clean-water-and-the-role-of-geology/>(2026.1.21 access)  
アフマッド・ダル、ダン・ダサプタ エルウイン・イラワン「貧困、清潔な水へのアクセス、そして地質学の役割の相互関連性」(2023 年)より抜粋、一部省略。)

問題 3. 米国の環境正義に関する次の英文を全文和訳し解答用紙に記入しなさい。(配点 20 点)

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(出典 : Renee Skelton, Vernice Miller, Courtney Lindwall, NRDC (the Natural Resources Defense Council) *The Environmental Justice Movement*, August 14, 2025 より抜粋、一部省略。)

## 問題 1(出題意図)

アメリカの環境保護団体、天然資源保護協会(=NRDC)が2017年に公表したパリ協定の概要に関する報告書から抜粋し出題した。近年の環境問題において気候変動枠組み条約と地球温暖化防止策に関する基礎知識を確認する意図を持つ。国際環境法に係る基礎知識と英語読解力を問う出題である。

## 問題 1(模範解答) (回答は下線部のみ)

2015年12月12日、パリにおいて、気候変動に対応するための国際協定が採択された。この協定は先進国と発展途上国を含むすべての国に、より厳格な排出削減目標を求めるものである。世界の排出量の97%を占める国々は、会議に先立ち、気候変動に関する公約を提出した。これらの公約は160か国以上で批准、受諾、あるいは承認され、既に国内法として制定されている。この協定は各国が公約目標を履行する責任を負い、途上国が低炭素で気候に対する強靱な社会経済を構築するために支援するための投資を促進させる計画を含んでいる。心強いことに、企業、投資家、州、県、都市、金融機関なども、各国政府がこの協定を履行し、さらには公約義務を上回る成果を上げるための行動を約束している。

パリ協定は気候変動を「解決」するものではないとしても、それは重要な転換点となるものである。それはより安定した方向で気候を導き、今後数十年の野心的な歩みの道筋を生み出すものである。各国は現在の公約が最小限の目標であり、決して最大限のものではないという意図を確認することで、国家の行動を強化させる合意を提示した。

この合意は都市、国家、県、企業、その他の金融機関によるさらなる行動を促進させることになるであろう。パリ協定は時代の経過につれ、その野心が高まっていくという好循環を創り出した。

## 問題 2(出題意図)

水を取り巻く環境と貧困問題の関連性に着目したテーマからの出題。バングラデシュ等の南アジア諸国の水環境、都市環境の悪化と貧困問題の関係性を念頭においた地質学の論文であるが、その中から貧困問題と環境問題の関連性に触れられた根源的な課題が問われている部分を抽出した。リード文は環境問題、環境政策として求められるアプローチの問題にもつながる。水資源と人間の営みの相互作用と環境破壊、環境汚染、都市化と貧困という人為的原因を問う意味で環境政策的課題につながる出題である。

## 問題2 (模範解答)

貧困は相互に関連する様々な要素によって清潔な水にアクセスする機会を損なわせる。研究者によって貧困と安全な水資源へのアクセスが不十分であることの間には強い相関性があり、それはとりわけ地方において顕著であることが示されてきた。貧困と水資源へのアクセスの相関関係に注目することによって清潔な水にアクセスできない人口比率は、貧困の指標として用いられてきた。この関係は、清潔な水の利用及びアクセス可能性を基にする貧困の実態を示す水資源利用システムの脆弱性という評価によりさらに強調されている。

(中略)

貧困はとりわけ脆弱な地方コミュニティにおける清潔な水へのアクセスの欠如と決定的な関係を持っている。貧困と水利用の相互関係は政府の介入と政策の必要性を重要視させるものであり、その政策とは特に水の影響を受けるあらゆる地域の住民の福祉(幸福)と生活水準の両方を同時に改善することを通じてなされるものである。

貧困層は清潔な水を購入する能力、あるいは利用可能な供給サービスの支払い能力を備えることを必要としている。もし住民が水を購入し水道水サービスを受けることができないならば、清潔な水にアクセスすることは不可能である。

より深刻な問題として、貧困層が一般的にスラム地区に集住しているという問題がある。スラム地区は当初から一般的には居住地区として想定されてこなかった。その結果、日常生活用に設計された他の地域とは異なり、同地区は清潔な水の供給ネットワークへのアクセスが欠如している。このような状況は都市化に伴う新たな貧困層の住民の増大によって加速化されている。都市化の現象はスラム地区の生活のクオリティをさらに悪化させている。清潔な水の供給網/サービスの負担コストは、政府の財源に限界があることから、より一層重いものとなっている。

### 問題3(出題意図)

環境問題を問う上で近年重要な標語とされている環境正義に関する出題である。特にアメリカで環境正義という考え方が普及した背景、特に人種格差や所得格差という問題があること、そこから問われるべき価値や意義の理解を問

### 問題 3(模範解答)

環境正義とは本質的に、人種、肌の色、国籍、所得に関わらず、誰もが同じ環境保護と恩恵を受ける権利を持ち、また同様に、彼らが形成するコミュニティの政策に重要な形で貢献をする権利を持つことを意味する。しかしながら、このようなことが有色人種や低所得者層にとって現実となることはごく稀に過ぎない。なぜならこのような環境不正義が、アメリカの建国以来、教育から健康保険に至るまで社会のあらゆる側面において影響を持ち続けた、レイシズムと不平等という同様の特徴により形成されてきたためである。